



「夢を描いてほしい」という市民の声に応じて田窪恭治氏が描いた飯山復活協会のイメージスケッチ。当時、教会前のアプローチは普通の舗装でしたが、現在、デザインは少し違えども、スケッチのように CORQ®(コルク)を敷設し、スケッチのような風景を生み出しつつあります。

CORQ®…コルテン鋼という、さびでさびを防ぐという特殊な鉄を使用した素材。田窪さんがノルマンディーの「林檎の礼拝堂」の再生に取り組んだ最後に、地域に密着する田窪さん自身の「感覚細胞」として生み出しました。CORQ®は、年を経るごとにさび、自らのさびが成長しそれ以上の腐食を防ぐという特性を持ち、時間とともに変わりゆく風景を楽しむことができます。そして、さび=「さ美」、は、日本の情緒「侘び寂び」に通じる美しい風景をつくりだします。

「さ美」のある風景は、飯山と強くリンクする風景でもあります。豪雪地飯山では、冬になると道路の中央から融雪のために地下水が散水されます。鉄分が多く含まれる地下水により道路が赤茶色に染まっているのです。豪雪地帯・飯山を象徴する「さ美」の風景と CORQ は、強く結びつきあうのです。



かつての教会の様子。2015年、市民参加のイベントにより手前の参道に CORQ®(コルク)が敷設されました。花壇の整備などが行われました。



教会の敷地内にとどまらず周辺の小道も整備してCORQ®（コルク）敷き詰めてはという提案のイメージスケッチ。教会に続くこの小道はイラストでは「CHAPEL ROAD」と記されていますが、広小路基本計画（2016年度）では「天使の小路」として整備されることになりました。